



アーキテクチャ図

イベント駆動型アーキテクチャのドメイン整合性



イベント駆動型アーキテクチャのドメイン整合性: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

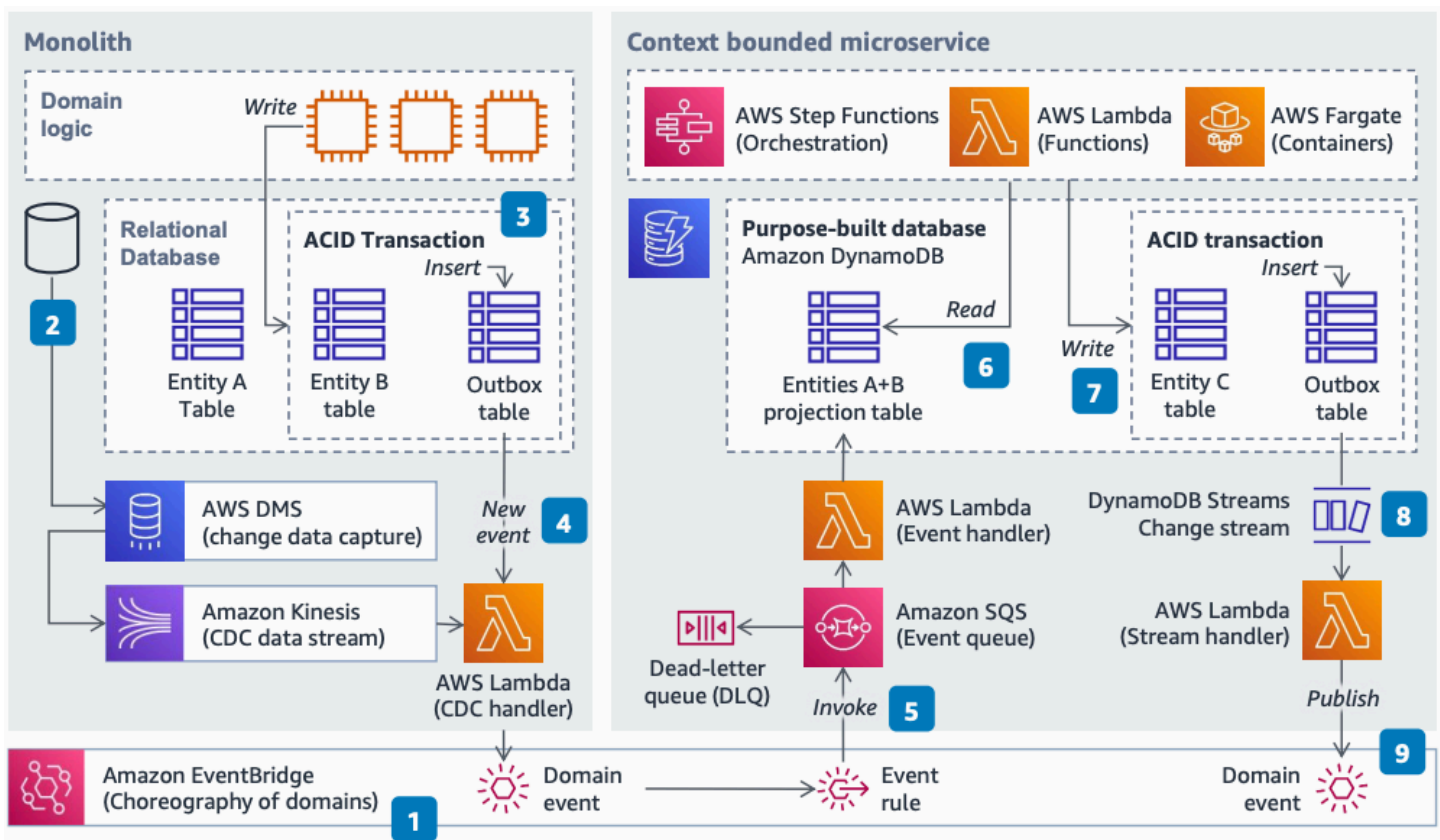
ドメインの整合性	i
イベント駆動型アーキテクチャのドメイン整合性	1
詳細情報	2
図の履歴	2
.....	iv

イベント駆動型アーキテクチャのドメイン整合性

公開日: 2022 年 3 月 8 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャは、トランザクションアウトボックスパターンをドメインのデータベーストランザクションに適用することで、イベント駆動型アーキテクチャの耐障害性を高める方法を示しています。すべてのローカル変更によって、他のドメインが投影できる対応するドメインイベントが生成され、境界コンテキスト間で結果整合性が確保されます。

イベント駆動型アーキテクチャのドメイン整合性



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. ドメイン間のイベントコレオグラフィをサポートするには、[Amazon EventBridge](#) を使用してカスタムイベントバスを設定します。
2. AWS Database Migration Service (AWS DMS) と [Amazon Kinesis Data Streams](#) で変更データキャプチャ (CDC) を設定して、モノリスのリレーショナルデータベースの変更を検出します。

3. データベースの変更後にイベントを挿入するアウトボックステーブルを作成し、エンティティとアウトボックステーブルの両方の書き込みをアトミック性、一貫性、分離性、耐久性 (ACID) を備えたトランザクションオペレーション内にラップします。
4. Kinesis CDC ストリームをリッスンする [AWS Lambda](#) 関数を使用してアウトボックステーブルの挿入をキャプチャし、イベントバスでドメインイベントとして公開します。
5. コンテキスト制限付きマイクロサービスで、EventBridge でルールを設定して [Amazon Simple Queue Service](#) キューにプッシュし、Lambda 関数と Amazon SQS デッドレターキュー (DLQ) で処理することで、関連する外部イベントをキャプチャします。
6. 受信外部ドメインイベントを使用して、ローカルロジックが読み取るために、[Amazon DynamoDB](#) テーブルで実装された、結果整合性のある他のドメインのデータベースの射影表現を構築します。
7. マイクロサービスで、エンティティテーブルとイベントアウトボックステーブルの両方で同じトランザクションメカニズムを繰り返します。
8. DynamoDB Streams を使用して、イベントアウトボックステーブルの挿入をキャプチャします。
9. Lambda 関数を使用してデータストリームを処理し、挿入をイベントバスのドメインイベントとして発行します。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 3 月 8 日

 Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。